

医薬事業 臨床開発品目一覧（2016年2月4日現在）

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階	備考
JTK-303(エルビテグラビル)/ コピシタット/エムトリシタピン /テノホビル アラフェナミドフマ ル酸塩配合錠	HIV感染症 /経口	インテグラーゼ阻害/ 逆転写酵素阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる2つ の酵素の働きをインテグラーゼ阻害剤と核酸系 逆転写酵素阻害剤により阻害し、ウイルス量を 低下させる	国内:申請準備中	JTK-303(エルビテグラビル) は自社品 他3成分は導入品 (Gilead Sciences社)
エムトリシタピン/テノホビル ア ラフェナミドフマル酸塩配合錠	HIV感染症 /経口	逆転写酵素阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素 の働きを核酸系逆転写酵素阻害剤により阻害 し、ウイルス量を低下させる	国内:申請準備中	導入品 (Gilead Sciences社)
JTT-851	2型糖尿病 /経口	GPR40作動	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高 血糖を是正する	国内:Phase2 海外:Phase2	自社品
JTZ-951	腎性貧血 /経口	HIF-PHD阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモ ンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球 を増加させる	国内:Phase2 海外:Phase1	自社品
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害 し、過剰な免疫反応を抑制する	国内:Phase2	自社品
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシ グナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外:Phase1	自社品
JTE-151	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ROR γ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うROR γ を阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外:Phase1	自社品
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素(PDH) を活性化し、高血糖を是正する	海外:Phase1	自社品
JTK-351	HIV感染症 /経口	インテグラーゼ阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素 であるインテグラーゼの働きを阻害し、ウイル ス量を低下させる	国内:Phase1	自社品

(注)開発段階の表記は投薬開始を基準とする

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化 酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖 を抑制する	(適応:メラノーマ) 日本 申請中
抗ICOS抗体	MedImmune社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻 害し、免疫反応を抑制する	
JTE-052	LEO Pharma社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害 し、過剰な免疫反応を抑制する	

前回公表時(2015年11月4日)からの変更点

<導出品>

・Gilead Sciences社 抗HIV薬Genvoya(elvitegravir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide配合錠)につき、米国及び欧州における承認取得を公表
(2015年11月5日、11月23日)